

# 中小企業動向調査

この調査は富山県内企業407社を対象に実施し、296社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成25年7月～9月の実績、平成25年10月～12月の見込み、平成26年1月～3月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成25年9月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	180	135	75.0%
非 製 造 業	227	161	70.9%
計	407	296	72.7%

日銀が11月13日に公表した、北陸の金融経済月報（2013年11月）によると、「北陸の景気は、着実持ち直している。最終需要をみると、個人消費は持ち直しの動きがみられる。また、設備投資は底堅く推移しているほか、住宅投資は増加しており、公共投資は増加傾向を維持している。

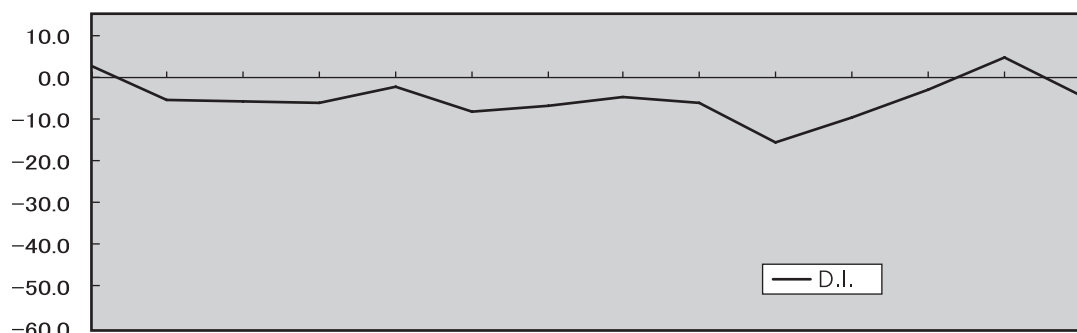
当地製造業の生産は、着実に増加している。業種別にみると、電子部品・デバイスが増加しているほか、化学は高水準の生産を維持している。はん用・生産用・業務用機械、金属製品は持ち直している。繊維は持ち直しの動きが一服している。雇用・所得は持ち直している。この間、物価は前年を上回っている。

先行きについては、国内需要の底堅さと海外経済の持ち直しを背景に、穏やかに回復していくと考えられる。

## I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

期別 種別	（%）													
	22年				23年				24年				25年	
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月
良 い	20.8	17.5	19.4	15.4	17.9	15.1	14.3	14.7	15.7	10.4	14.2	13.7	16.2	10.4
普 通	61.1	59.5	55.4	63.2	61.8	61.6	64.6	65.8	62.5	63.7	62.2	69.6	72.4	75.1
悪 い	18.1	23.0	25.2	21.4	20.3	23.3	21.1	19.5	21.8	25.9	23.6	16.7	11.4	14.5
D . I .	2.7	-5.5	-5.8	-6.0	-2.4	-8.2	-6.8	-4.8	-6.1	-15.5	-9.4	-3.1	4.8	-4.2

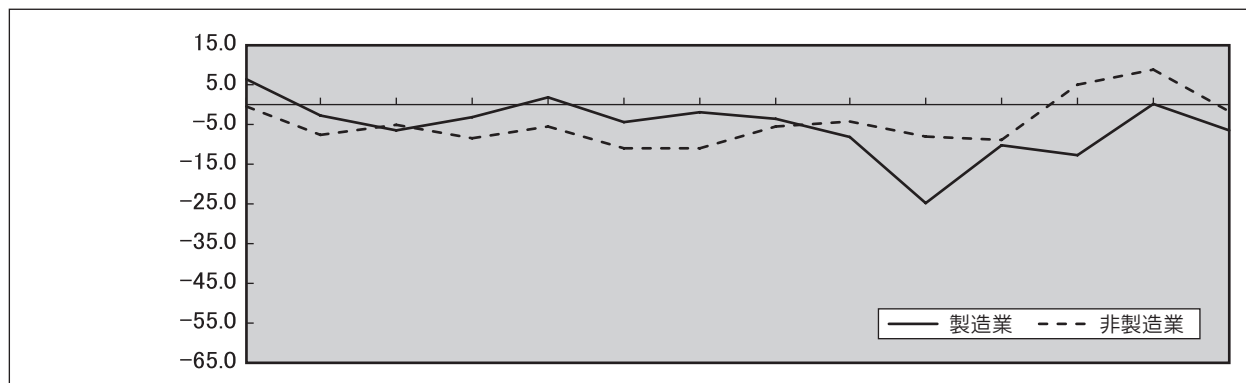


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

		(%)													見込	予測		
種別	期別	22年				23年				24年				25年				26年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
良	い	27.0	20.3	20.8	17.1	21.6	19.4	16.2	15.3	13.6	6.2	16.8	10.5	16.9	9.2			
普	通	52.5	56.5	51.5	62.5	58.2	56.6	65.4	65.6	64.4	62.8	56.0	66.2	66.2	74.6			
悪	い	20.6	23.2	27.7	20.4	20.1	24.0	18.5	19.1	22.0	31.0	27.2	23.3	16.9	16.2			
D . I .		6.4	-2.9	-6.9	-3.3	1.5	-4.7	-2.3	-3.8	-8.5	-24.8	-10.4	-12.8	0.0	-6.9			

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

		(%)													見込	予測		
種別	期別	22年				23年				24年				25年				26年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
良	い	15.3	15.0	18.2	13.9	15.0	11.7	12.8	14.3	17.5	13.7	12.0	16.3	15.6	11.3			
普	通	68.8	62.1	58.7	63.9	64.7	65.6	64.0	65.8	60.8	64.4	67.3	72.5	77.5	75.5			
悪	い	15.9	22.9	23.1	22.3	20.4	22.7	23.2	19.9	21.7	21.9	20.7	11.3	6.9	13.2			
D . I .		-0.6	-7.8	-5.0	-8.4	-5.4	-11.0	-10.4	-5.6	-4.2	-8.2	-8.7	5.0	8.8	-1.9			



- (1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の25年7～9月期実績は▲3.1と前期比6.3ポイント改善した。先行きについて、25年10～12月期のD.I.は4.8、26年1～3月期のD.I.は▲4.2と一旦改善するが、再び悪化する予想となっている。前期は、マイナスポイントであるが改善傾向となっていた。今期も改善となっているが先行きの26年は悪化予想となっている。
- (2) 業況判断指数D.I.の25年7～9月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より2.4ポイント、悪化した。非製造業は前期より13.3ポイント改善した。前期と反対の結果となった。先行きについては10～12月期はどちらも改善予想であるが26年1～3月はマイナスポイントと悪化予想となっている。

## II. 売上高状況

売上高状況

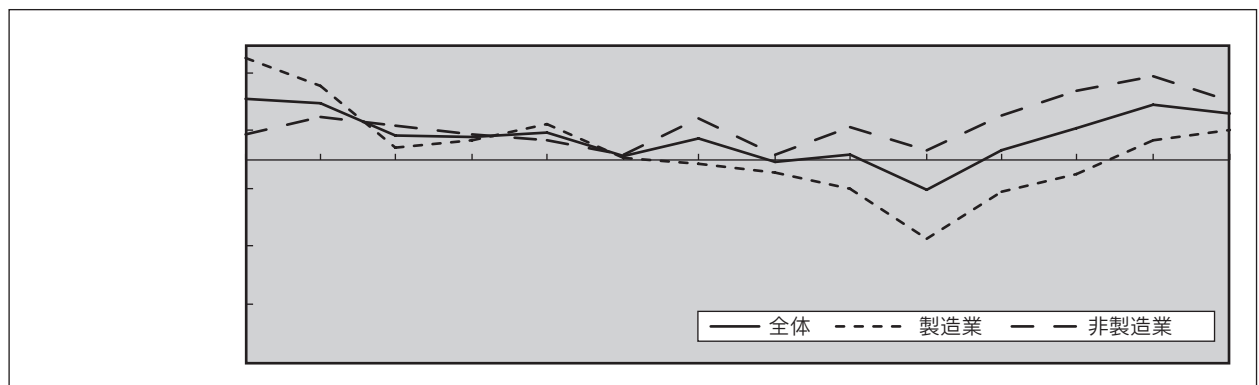
種別	期別	(%)														見込	予測	
		22年				23年				24年				25年				26年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		32.8	39.4	35.8	33.9	36.5	30.0	33.5	26.3	28.4	22.3	30.6	32.3	32.0	28.3			
横ばい		35.5	40.8	36.6	39.8	35.9	41.4	40.3	46.4	44.7	45.2	42.1	45.9	54.6	59.0			
減少		21.7	19.9	27.7	26.3	27.5	28.6	26.3	27.3	26.9	32.6	27.4	21.7	13.3	12.6			
D.I.		21.1	19.5	8.0	7.5	9.1	1.3	7.2	-1.0	1.5	-10.3	3.2	10.5	18.8	15.7			

売上高状況（うち製造業のみ）

種別	期別	(%)														見込	予測	
		22年				23年				24年				25年				26年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		54.2	44.6	34.0	33.6	36.2	27.9	28.0	24.4	24.5	12.3	22.8	25.3	26.1	23.9			
横ばい		26.8	36.0	35.9	39.5	39.9	45.0	42.6	46.6	40.7	48.2	43.3	44.0	54.5	62.7			
減少		19.0	19.4	30.1	27.0	23.9	27.1	29.4	29.0	34.8	39.5	33.8	30.6	19.4	13.4			
D.I.		35.2	25.2	3.9	6.6	12.3	0.8	-1.6	-4.6	-10.2	-27.2	-11.0	-5.2	6.7	10.4			

売上高状況（うち非製造業のみ）

種別	期別	(%)														見込	予測	
		22年				23年				24年				25年				26年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		32.5	34.6	37.2	34.1	36.8	31.5	37.8	27.8	31.5	30.0	37.1	38.2	37.1	32.0			
横ばい		43.3	45.1	37.2	40.1	32.7	38.7	38.4	46.3	47.9	42.9	41.1	47.5	54.7	56.0			
減少		24.1	20.3	25.6	25.8	30.4	29.8	23.8	25.9	20.6	27.2	21.8	14.4	8.2	11.9			
D.I.		8.3	14.4	11.6	8.4	6.4	1.8	14.0	1.9	11.0	2.7	15.2	23.8	28.9	20.1			



- 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は10.5となり、前期より7.3ポイント改善の回答となった。先行きについては、25年10~12月期は改善予想となっているが、26年1~3月期は悪化予想となった。しかし、今期より改善のポイントとなっている。
- 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比5.8ポイント改善、非製造業は8.6ポイント改善となっている。製造業については、まだマイナスポイントとなっており、減少との回答が多い状況である。先行きについては、どちらも同じ推移であり、10~12月期は改善見込みとなった。

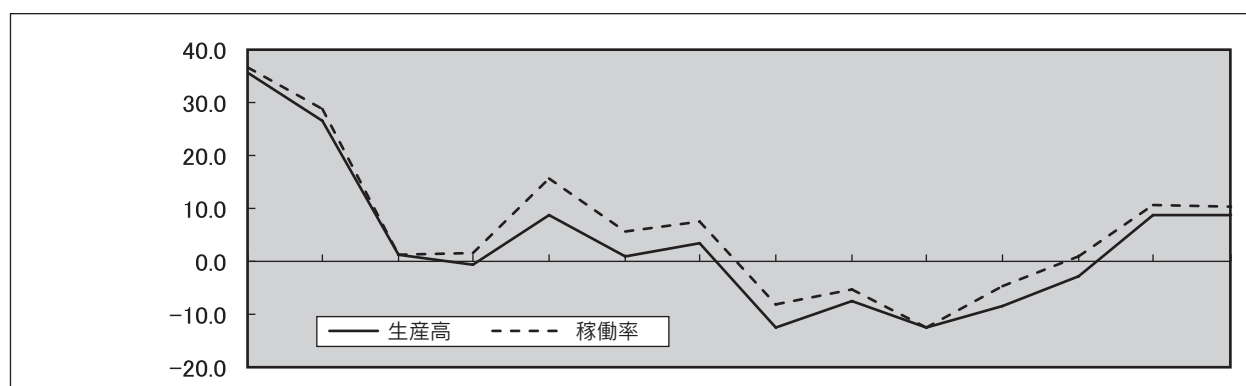
### Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

		(%)												見込	予測
期別 種別	22年	23 年				24 年				25 年				26年	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	
20%以上増加	20.0	16.9	11.9	6.7	6.5	6.1	5.6	4.7	5.1	0.9	5.5	3.9	2.4	2.4	
20%未満増加	33.3	28.7	19.8	21.5	28.1	22.1	25.0	17.2	20.5	19.6	17.2	19.5	25.2	21.3	
横ばい状況	28.9	35.3	37.6	43.0	39.6	44.3	41.9	43.8	41.0	46.4	46.1	50.0	53.5	61.4	
20%未満減少	15.6	14.7	21.8	24.8	22.3	25.2	22.6	28.1	29.1	24.1	21.9	24.2	18.1	13.4	
20%以上減少	2.2	4.4	8.9	4.0	3.6	2.3	4.8	6.3	4.3	8.9	9.4	2.3	0.8	1.6	
D . I .	35.6	26.5	1.0	-0.7	8.6	0.8	3.2	-12.5	-7.7	-12.5	-8.6	-3.1	8.7	8.7	

稼働率（製造業のみ）

		(%)												見込	予測
期別 種別	22年	23 年				24 年				25 年				26年	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	
上昇	19.4	19.1	12.1	5.6	7.4	6.4	4.9	5.7	6.1	0.9	4.7	4.0	1.6	0.8	
やや上昇	34.3	25.0	19.2	20.1	29.6	21.6	25.2	13.9	10.2	17.9	16.5	20.0	25.6	25.4	
横ばい	29.1	40.4	38.4	50.0	41.5	49.6	47.2	52.5	42.1	50.0	52.8	52.8	56.0	57.9	
やや下降	15.7	11.8	20.2	19.4	18.5	19.2	19.5	22.1	27.2	23.2	15.7	20.0	15.2	14.3	
下降	1.5	3.7	10.1	4.9	3.0	3.2	3.3	5.7	4.4	8.0	10.2	3.2	1.6	1.6	
D . I .	36.6	28.7	1.0	1.4	15.6	5.6	7.3	-8.2	-5.3	-12.5	-4.7	0.8	10.4	10.3	

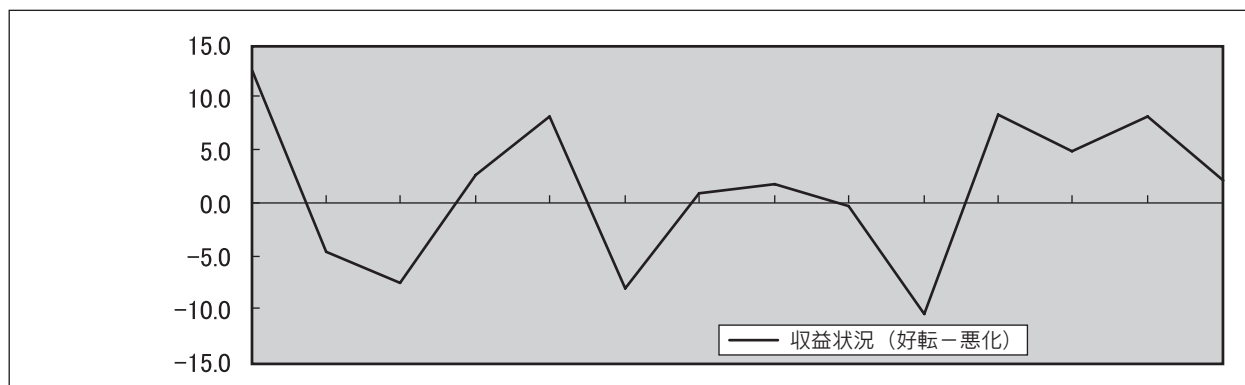


- 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は▲3.1となり、前期比5.5ポイント改善した。生産高のD.I.は25年1~3月を底に改善傾向にある。先行きについても、改善予想となっている。
- 稼働率についても、売上高、生産高同様に今期は改善となっている。  
先行きについても、改善予想であるが、25年10~12月期をピークにやや悪化の気配が感じられる。

## IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	22年	23年				24年				25年				見込	予測
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	26年
好転	27.3	20.2	19.8	24.8	26.4	17.0	19.5	19.7	20.8	15.8	25.2	19.3	18.3	15.0	
横ばい	57.9	54.8	52.7	53.0	55.3	57.7	61.6	62.2	58.1	57.9	57.9	66.1	71.5	72.1	
悪化	14.8	25.0	27.5	22.3	18.3	25.3	18.9	18.0	21.1	26.3	16.9	14.6	10.2	12.9	
D.I.	12.5	-4.8	-7.7	2.5	8.0	-8.3	0.7	1.7	-0.4	-10.5	8.3	4.7	8.1	2.0	



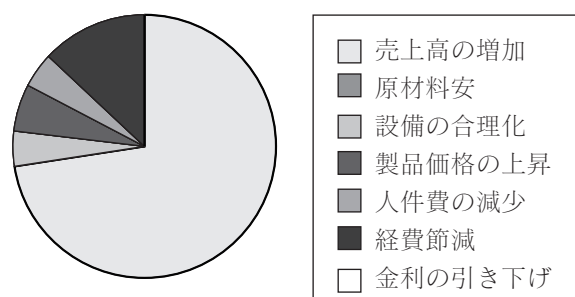
好転理由

期別 種別	22年	23年				24年				25年				見込	予測
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	26年
売上高の増加	73.6	69.2	60.0	76.0	73.5	66.2	67.6	64.4	70.8	61.8	64.5	72.5	80.6	70.9	
原材料安	1.8	1.3	5.0	3.0	4.1	1.5	9.9	4.1	4.6	1.8	4.3	0.0	0.0	0.0	
設備の合理化	0.9	5.1	6.7	2.0	1.0	0.0	0.0	1.4	3.1	1.8	3.2	4.3	4.8	9.1	
製品価格の上昇	3.6	5.1	6.7	2.0	2.0	2.9	2.8	2.7	3.1	5.5	4.3	5.8	3.2	3.6	
人件費の減少	4.5	2.6	5.0	3.0	3.1	4.4	2.8	6.8	0.0	7.3	4.3	4.3	0.0	3.6	
経費節減	15.5	16.7	16.7	14.0	16.3	22.1	16.9	19.2	16.9	18.2	18.3	13.0	11.3	12.7	
金利の引き下げ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4	1.5	3.6	1.1	0.0	0.0	0.0	

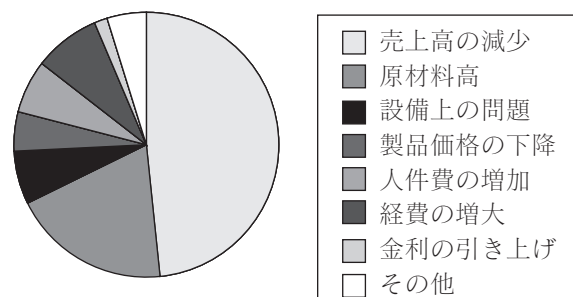
悪化理由

期別 種別	22年	23年				24年				25年				見込	予測
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	26年
売上高の減少	65.7	55.4	53.7	56.1	50.0	55.6	59.2	56.8	51.3	66.3	62.5	48.4	46.9	64.7	
原材料高	8.6	13.4	14.7	11.2	18.3	14.8	17.1	13.5	10.3	10.8	12.5	19.4	26.5	11.8	
設備上の問題	0.0	3.6	1.1	2.0	1.2	0.9	0.0	1.4	3.8	1.2	0.0	6.5	4.1	2.0	
製品価格の下降	14.3	8.0	10.5	9.2	11.0	8.3	6.6	14.9	11.5	4.8	7.8	4.8	4.1	2.0	
経費の増大	1.4	7.1	6.3	12.2	8.5	11.1	5.3	9.5	12.8	9.6	9.4	6.5	6.1	11.8	
人件費の増加	7.1	4.5	6.3	5.1	4.9	2.8	6.6	2.7	2.6	2.4	3.1	8.1	8.2	3.9	
金利の引き上げ	0.0	2.7	1.1	1.0	0.0	0.9	0.0	1.4	0.0	0.0	1.6	1.6	2.0	2.0	
その他	2.9	5.4	6.3	3.1	6.1	5.6	5.3	0.0	7.7	4.8	3.1	4.8	2.0	2.0	

好転理由



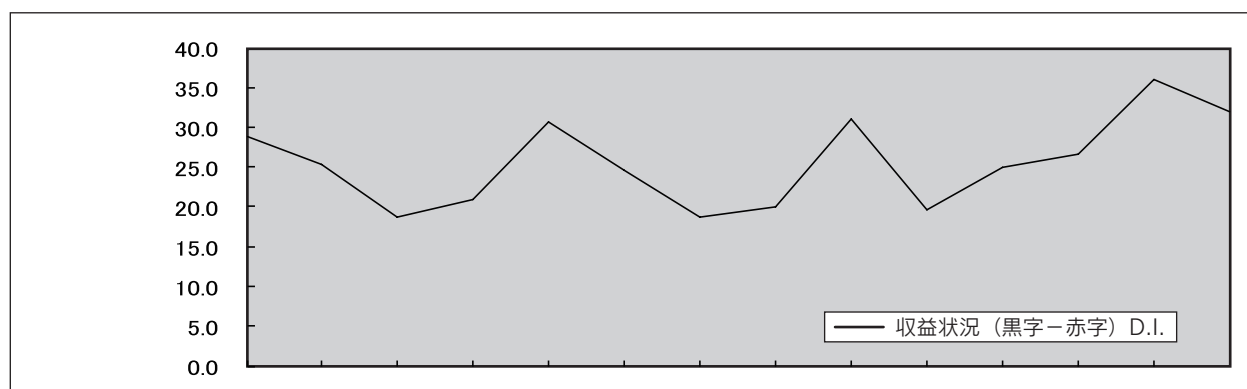
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比3.6ポイント悪化し、4.7となった。収益は、好転との回答が増加となった。先行きについては、売上高と同じ推移の予想となっている。
- (2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」とするポイントが最も高い。次に「経費節減」「製品価格の上昇」の順となっている。「製品価格の上昇」は前期よりポイントがやや増加した。先行きについても同様の理由が予想されている。
- (3) 収益が悪化した理由では、「売上高の減少」とするポイントが最も高いが、前期より減少している。「原材料高」「人件費の増加」も次に高いポイントとなっている。先行きについても同じ理由が高いが、「経費の増大」を理由とするポイントも増加している。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別	(%)														
		22年				23年				24年				25年		26年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
黒字		43.2	43.6	40.8	43.4	47.4	44.3	41.0	39.1	46.7	39.0	44.3	42.5	46.3	42.7	
収支トントン		42.5	38.1	37.2	34.2	35.9	36.0	36.9	41.9	37.7	41.7	36.3	41.8	43.5	46.6	
償却後赤字		14.3	18.3	22.0	22.5	16.8	19.7	22.1	19.0	15.6	19.3	19.4	15.8	10.2	10.7	
D . I .		28.9	25.3	18.8	20.9	30.6	24.6	19.0	20.1	31.1	19.7	24.9	26.7	36.1	32.0	



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は26.7となり、前期比1.8ポイント改善であり、あまり変化がなかった。先行きについてD.I.は25年10~12月は36.1となっており、更に改善予想である。しかし、26年1~3月期は例年どおりの悪化予想となっている。

## V. 製品在庫水準

製品在庫水準

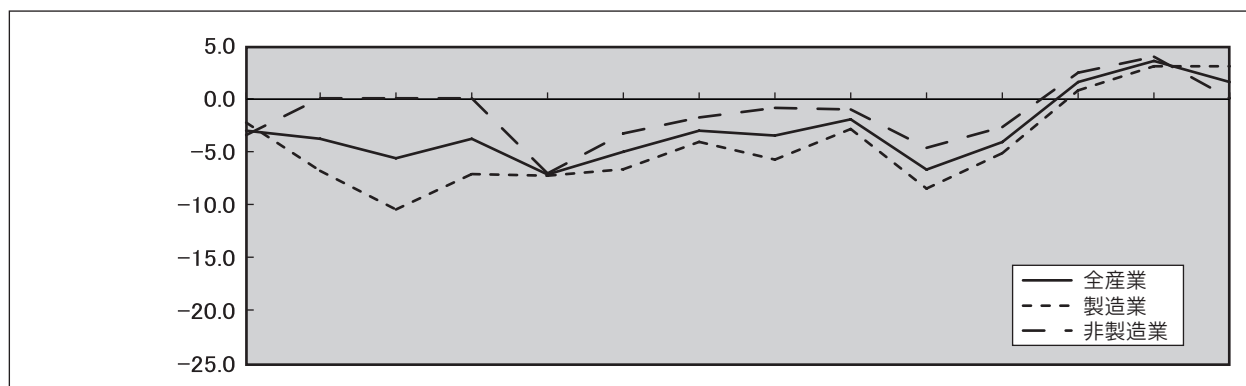
		(%)														見込	予測
期別 種別	22年	23年				24年				25年				26年			
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月			
不足	6.2	4.6	7.1	4.5	1.3	3.8	3.9	2.5	2.9	0.9	3.6	5.2	4.8	4.4			
適正	84.8	87.1	80.2	87.1	90.4	87.4	89.3	91.5	92.3	91.5	88.8	91.3	94.0	92.8			
過剰	9.1	8.3	12.6	8.3	8.3	8.8	6.9	5.9	4.8	7.5	7.6	3.6	1.2	2.8			
D . I .	-2.9	-3.8	-5.5	-3.8	-7.1	-5.0	-3.0	-3.4	-1.9	-6.6	-4.0	1.6	3.6	1.6			

製品在庫水準（うち製造業のみ）

		(%)														見込	予測
期別 種別	22年	23年				24年				25年				26年			
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月			
不足	7.8	4.5	6.3	4.3	1.6	4.1	2.5	1.6	2.8	1.9	5.1	6.3	5.5	6.3			
適正	82.2	84.1	77.1	84.4	89.6	85.1	91.0	91.0	91.7	87.7	84.7	88.3	92.1	90.6			
過剰	10.1	11.4	16.7	11.3	8.8	10.7	6.6	7.4	5.5	10.4	10.2	5.5	2.4	3.1			
D . I .	-2.3	-6.8	-10.4	-7.1	-7.2	-6.6	-4.1	-5.7	-2.8	-8.5	-5.1	0.8	3.1	3.1			

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

		(%)														見込	予測
期別 種別	22年	23年				24年				25年				26年			
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月			
不足	4.4	4.6	8.1	4.9	0.9	3.4	5.4	3.5	3.0	0.0	1.9	4.0	4.0	2.4			
適正	87.7	90.7	83.7	90.2	91.3	89.7	87.4	92.1	93.0	95.3	93.4	94.4	96.0	95.1			
過剰	7.9	4.6	8.1	4.9	7.8	6.8	7.2	4.4	4.0	4.7	4.7	1.6	0.0	2.4			
D . I .	-3.5	0.0	0.0	0.0	-7.0	-3.4	-1.8	-0.9	-1.0	-4.7	-2.8	2.4	4.0	0.0			



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、25年7~9月期は1.6となり、前期比5.6ポイント改善となり、「不足」とするポイントが高くなった。先行きについても、在庫不足が続く予想である。
- (2) 業種別では、製造業のD.I.0.8となり、前期比5.9ポイント改善となった。非製造業も前期より、5.2ポイント改善となり、在庫不足となっている。先行きについては、製造業、非製造業とも、在庫不足となる予想である。

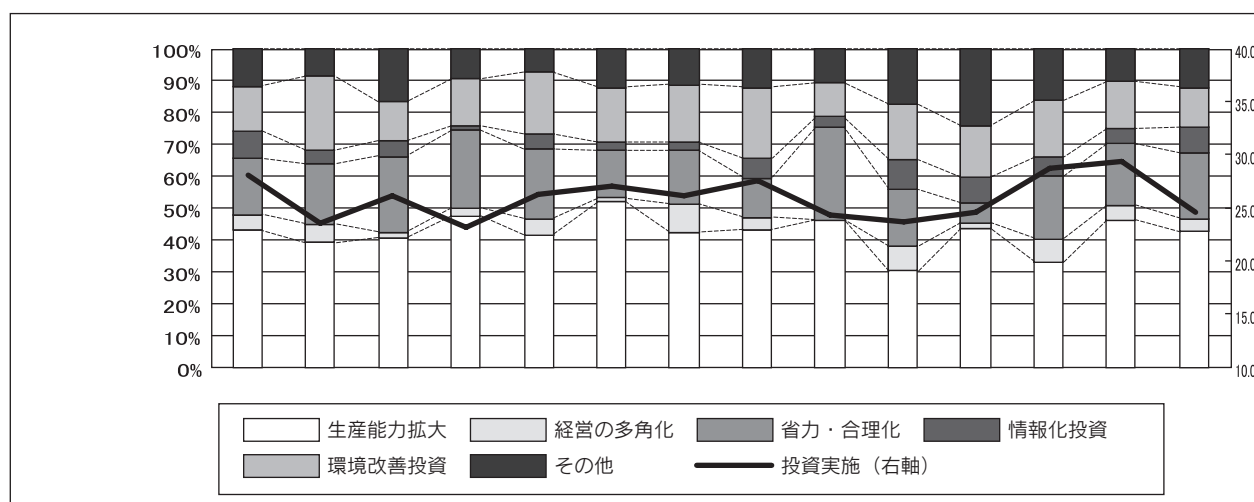
## VI. 設備投資動向

設備投資の有無

		(%)													見込	予測
期別 種別	22年	23年				24年				25年				26年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
投資実施	28.1	23.6	26.1	23.2	26.3	27.0	26.2	27.6	24.4	23.7	24.7	28.7	29.4	24.7		
投資せず	71.9	76.4	73.9	76.8	73.7	73.0	73.8	72.4	75.6	76.3	75.3	71.3	70.6	75.3		

設備投資の目的（実施先について）

	(%)													
生産能力拡大	42.9	39.1	40.7	47.3	41.5	51.9	42.3	43.2	46.2	30.2	39.1	32.9	46.0	42.5
経営の多角化	4.8	5.8	1.7	2.7	4.9	1.2	9.0	3.7	0.0	7.9	1.4	7.1	4.6	4.1
省力・合理化	17.9	18.8	23.7	24.3	22.0	14.8	16.7	12.3	29.2	17.5	5.9	20.0	19.5	20.5
情報化投資	8.3	4.3	5.1	1.4	4.9	2.5	2.6	6.2	3.1	9.5	7.2	5.9	4.6	8.2
環境改善投資	14.3	23.2	11.9	14.9	19.5	17.3	17.9	22.2	10.8	17.5	14.5	17.6	14.9	12.3
その他	11.9	8.7	16.9	9.5	7.3	12.3	11.5	12.3	10.8	17.5	21.7	16.5	10.3	12.3



(1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の28.7%と、前期比4.0ポイント増加した。先行きについては、10~12月では29.4%、26年1~3月では24.7%の企業が設備実施見込となっている。実施の目的別では、前期に比べ「省力・合理化」とするポイントが大幅に増加している。「生産能力拡大」を目的とする企業はやや減少した。

(2) 業種別の、製造業では「出版印刷紙加工」「プラスチック」「電子部品製造」「医薬品製造」の順で設備投資実施のポイントが高い。非製造業では、「運送業」「自動車販売」「卸売業」のポイントが高く、設備投資を行っている。

先行きについても、「医薬品製造」「プラスチック」の設備投資予定は高いポイントとなっている。

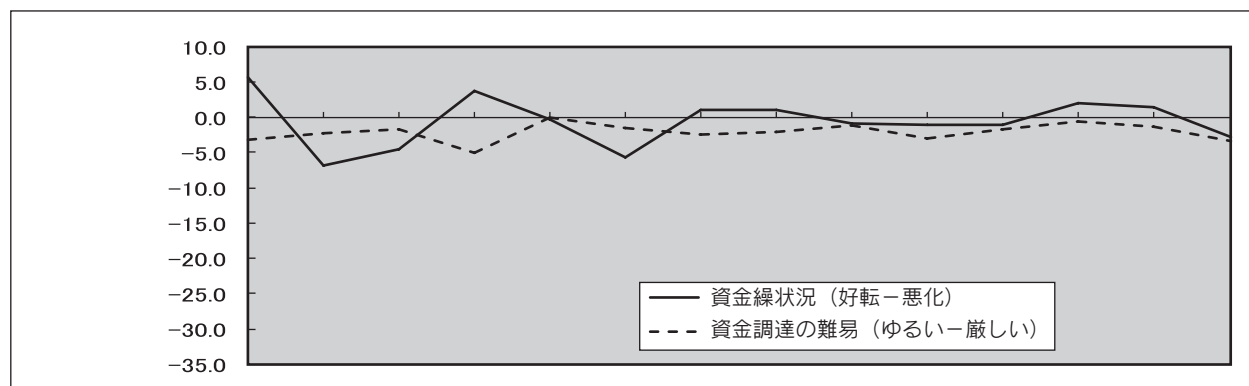


## VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	22年	23年				24年				25年				26年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
好転	13.7	5.5	11.5	10.0	9.9	7.0	11.8	10.9	9.5	8.6	10.1	8.8	5.4	4.8
変わらず	78.3	82.2	72.6	83.8	79.8	80.3	77.4	79.3	80.3	81.6	78.8	84.4	90.5	87.7
悪化	8.0	12.3	15.9	6.2	10.3	12.7	10.8	9.9	10.2	9.8	11.2	6.8	4.1	7.5
D . I .	5.7	-6.8	-4.4	3.7	-0.3	-5.7	1.0	1.0	-0.8	-1.1	-1.1	2.0	1.4	-2.7



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

期別 種別	22年	23年				24年				25年				26年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
ゆるい	9.9	12.1	11.8	10.1	12.6	12.5	12.3	10.8	11.3	11.7	11.4	11.1	10.5	9.5
厳しくない	76.9	73.4	74.7	74.8	74.8	73.3	73.0	76.3	76.3	73.4	75.3	77.1	77.7	77.5
厳しい	13.3	14.5	13.6	15.1	12.6	14.2	14.7	12.9	12.5	14.8	13.3	11.8	11.8	13.0
D . I .	-3.4	-2.4	-1.8	-5.0	0.0	-1.7	-2.5	-2.1	-1.2	-3.1	-1.8	-0.7	-1.4	-3.5

(1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、2.2と前期より改善となった。資金繰り状況は、4期ぶりにプラスポイントとなり、好転の回答が高い状況となっている。先行きについては、今年は好転予想であるが、26年1～3月期は悪化のポイントが高くマイナスポイントとなる予想となっている。

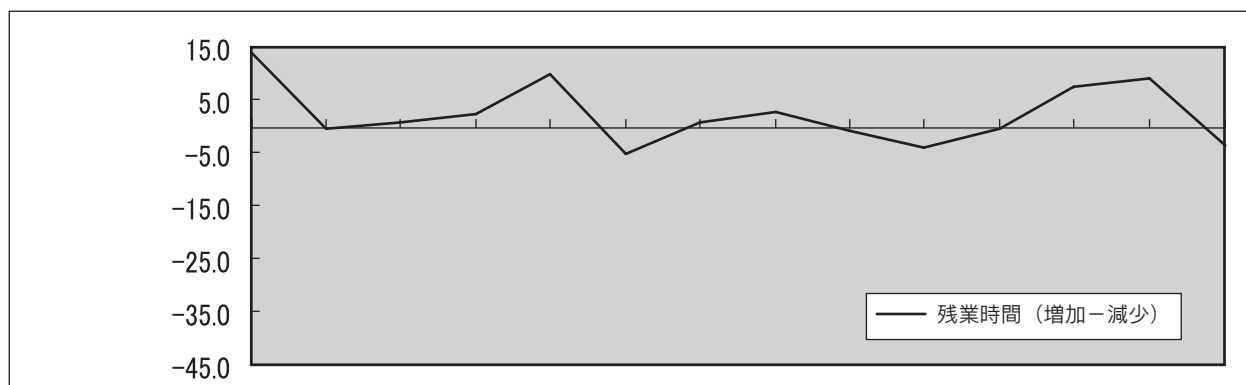
(2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、▲0.7となり、前期より1.1ポイント改善したが、マイナスであり「厳しい」との回答が高い状況が続いている。

先行きについても、マイナスポイントであり、厳しいとの予想である。厳しいとのポイントが高い主な業種は、製造業では「窯業土石」「繊維」であり、非製造業では「宿泊業」「不動産業」となっている。

## VIII. 労務事情

残業時間

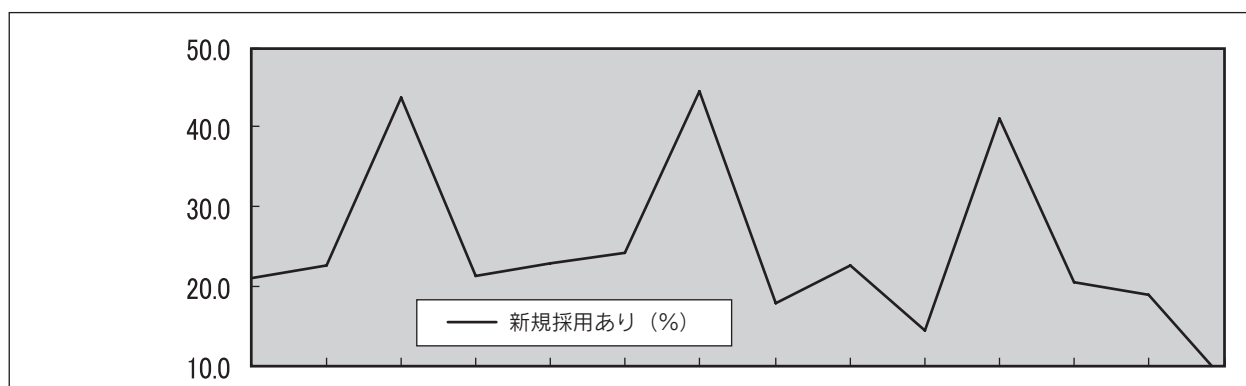
		(%)													見込	予測
期別 種別	22年	23年				24年				25年				26年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
増加	24.6	17.4	20.0	16.9	20.1	14.8	12.7	13.3	12.7	12.0	13.3	15.4	14.8	7.0		
横ばい	64.8	64.9	60.5	68.5	69.7	65.5	75.4	76.0	73.7	71.8	73.0	76.6	79.3	82.2		
減少	10.6	17.7	19.5	14.6	10.2	19.7	11.9	10.6	13.6	16.2	13.7	8.1	5.9	10.7		
D.I.	14.1	-0.4	0.5	2.4	9.9	-4.9	0.8	2.7	-0.8	-4.1	-0.4	7.3	8.9	-3.7		



(1) 残業時間D.I.は25年7~9月期7.3となり、前期比7.7ポイント増加した。残業時間は、増加との回答が多くなってきている。先行きについても、10~12月のD.I. 8.9であり、増加予想となっている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

		(%)													見込	予測
期別 種別	22年	23年				24年				25年				26年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
全産業	20.9	22.6	43.7	21.3	22.9	24.0	44.6	17.7	22.6	14.3	40.9	20.3	18.7	8.2		
(うち製造業)	22.5	25.9	42.2	17.6	18.6	20.0	48.9	17.6	16.1	13.6	40.2	20.0	14.9	6.0		
(うち非製造業)	19.5	19.6	45.0	24.6	26.5	27.1	41.3	17.8	27.9	14.9	41.4	20.5	21.9	10.1		

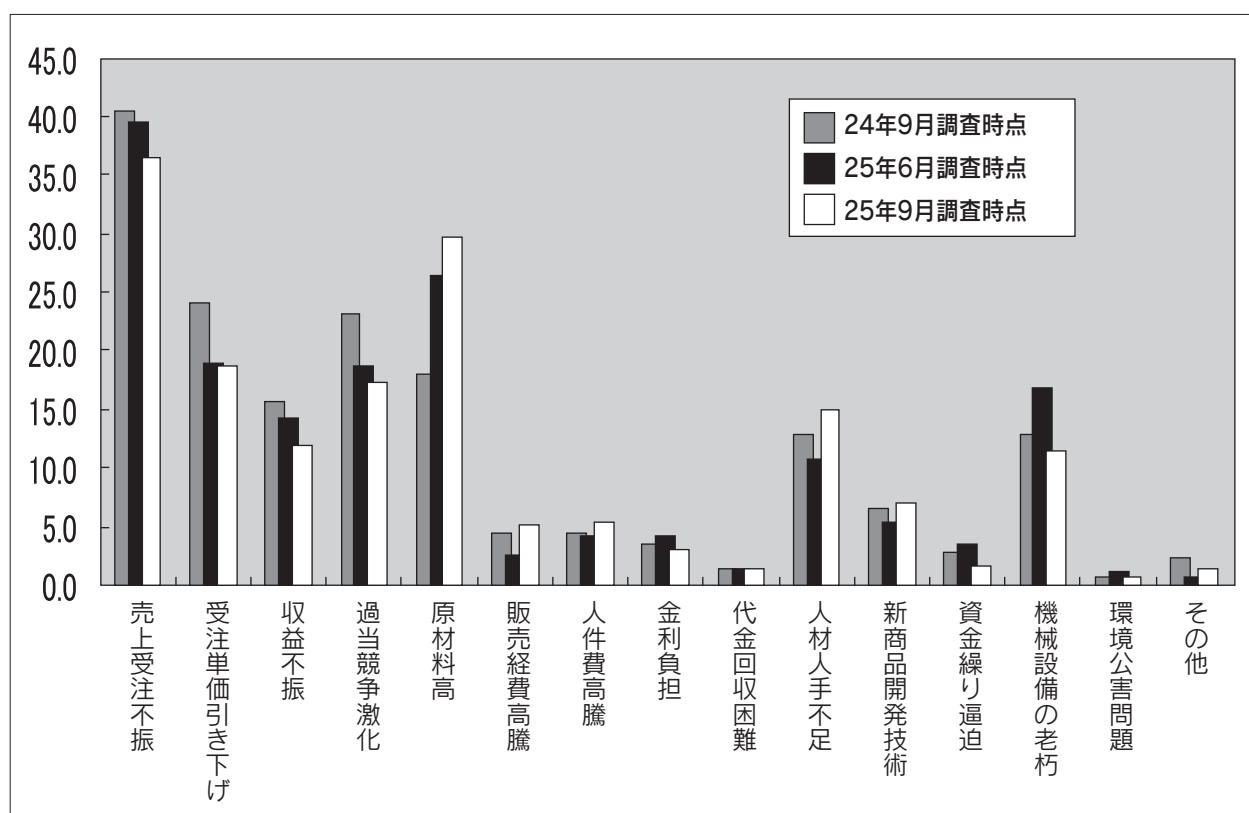


(2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業の20.3%が新規採用を行った。前年同期に比べ2.6ポイント増加となった。先行きについては、例年どおり減少していく予想となっている。

## IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	24年9月 (前年同期)	25年6月 (前回)	25年9月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	40.5	39.4	36.5	(45.9)	(28.6)	-2.9
受注単価引き下げ	24.1	19.0	18.6	(25.9)	(12.4)	-0.4
収益不振	15.6	14.3	11.8	(11.1)	(12.4)	-2.5
過当競争激化	23.1	18.6	17.2	(10.4)	(23.0)	-1.4
原材料高	18.0	26.5	29.7	(31.1)	(28.6)	3.2
販売経費高騰	4.4	2.5	5.1	(2.2)	(7.5)	2.6
人件費高騰	4.4	4.3	5.4	(1.5)	(8.7)	1.1
金利負担	3.4	4.3	3.0	(2.2)	(3.7)	-1.3
代金回収困難	1.4	1.4	1.4	(1.5)	(1.2)	0.0
人材人手不足	12.9	10.8	14.9	(9.6)	(19.3)	4.1
新商品開発技術	6.5	5.4	7.1	(13.3)	(1.9)	1.7
資金繰り逼迫	2.7	3.6	1.7	(0.7)	(2.5)	-1.9
機械設備の老朽	12.9	16.8	11.5	(13.3)	(9.9)	-5.3
環境公害問題	0.7	1.1	0.7	(0.7)	(0.6)	-0.4
その他	2.4	0.7	1.4	(1.5)	(1.2)	0.7



- 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振36.5%(前期比▲2.9ポイント)、②原材料高29.7%(前期比+3.2ポイント)、③受注単価引下げ18.6%(前期比▲0.4ポイント)の順になっている。
- 前期比では「人材人手不足」「原材料高」に対するポイントが増加した。減少したのは「機械設備の老朽」であった。
- 前期比ポイントが増加した「人材人手不足」を問題点とした業種は、「高岡銅器製造」「土木業」「医療福祉」が高いポイントとなっている。「原材料高」は、「窯業土石」「プラスチック」のポイントが高い。

## X. 為替変動に対する影響

項 目		見込 予測 (%)				
		25年1～3月	25年4～6月	25年7月～9月	25年10月～12月	26年1～3月
売上高	好 転	0.5	2.2	5.6	4.8	3.6
	悪 化	5.6	3.6	4.0	2.0	2.8
	影響なし	93.9	94.2	90.4	93.2	93.6
仕入高	好 転	1.9	1.8	1.2	1.6	1.6
	悪 化	1.0	17.3	15.1	14.3	13.5
	影響なし	85.1	80.9	83.7	84.1	84.9
営業利益	好 転	0.9	2.2	4.4	3.2	2.4
	悪 化	9.3	13.5	10.7	10.4	11.6
	影響なし	89.7	84.3	84.9	86.4	86.0

- (1) 円高に対する影響について回答を求めているが、現在は、円安状態となっている。  
見込、予測については、前期に比べた予想について回答を求めた。今回252社からの回答があり、7～9月では、売上高については9.6%から影響があると回答があった。売上高が好転したとの回答は5.6%で、前期比3.4ポイント増加した。
- (2) 仕入高については、16.3%が影響ありと回答。うち15.1%が悪化したと回答であった。好転したとの回答は、1.2%となり、前期より0.6ポイント減少した。営業利益では、15.1%が影響があり、うち10.7%が悪化したと回答している。今回調査では、悪化影響となった企業が前期よりやや減少した。
- (3) 先行きについては、売上高に対して影響あるとのポイントは減少予想であり、仕入高、営業利益に対する影響はやや減少予想となっている。